

「国道108号 <sup>ふるかわひがし</sup>古川東バイパス」の1.2kmが、  
令和2年3月28日(土)に部分開通します！

国土交通省が整備を進めてまいりました国道108号古川東バイパス <sup>ふるかわひがし</sup>  
延長5.1kmのうち、大崎市古川馬寄<sup>おおさきしふるかわまよせ</sup>～同市古川宮内<sup>ふるかわみやうち</sup>までの延長1.2km  
が令和2年3月28日(土)午前6時に部分開通することとなりました  
ので、お知らせいたします。

《今回の部分開通による主な整備効果》

- 交通分散による国道108号の混雑緩和・安全性の向上
- 地域産業の振興支援
- 迅速で安定した救急医療活動を支援

<sup>ふるかわひがし</sup>古川東バイパスは今回の部分開通により、延長5.1kmのうち、3.5km  
(約7割)が開通します。

- ・ 開通式典につきましては、関係機関との調整の結果、新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大防止の観点から実施いたしません。

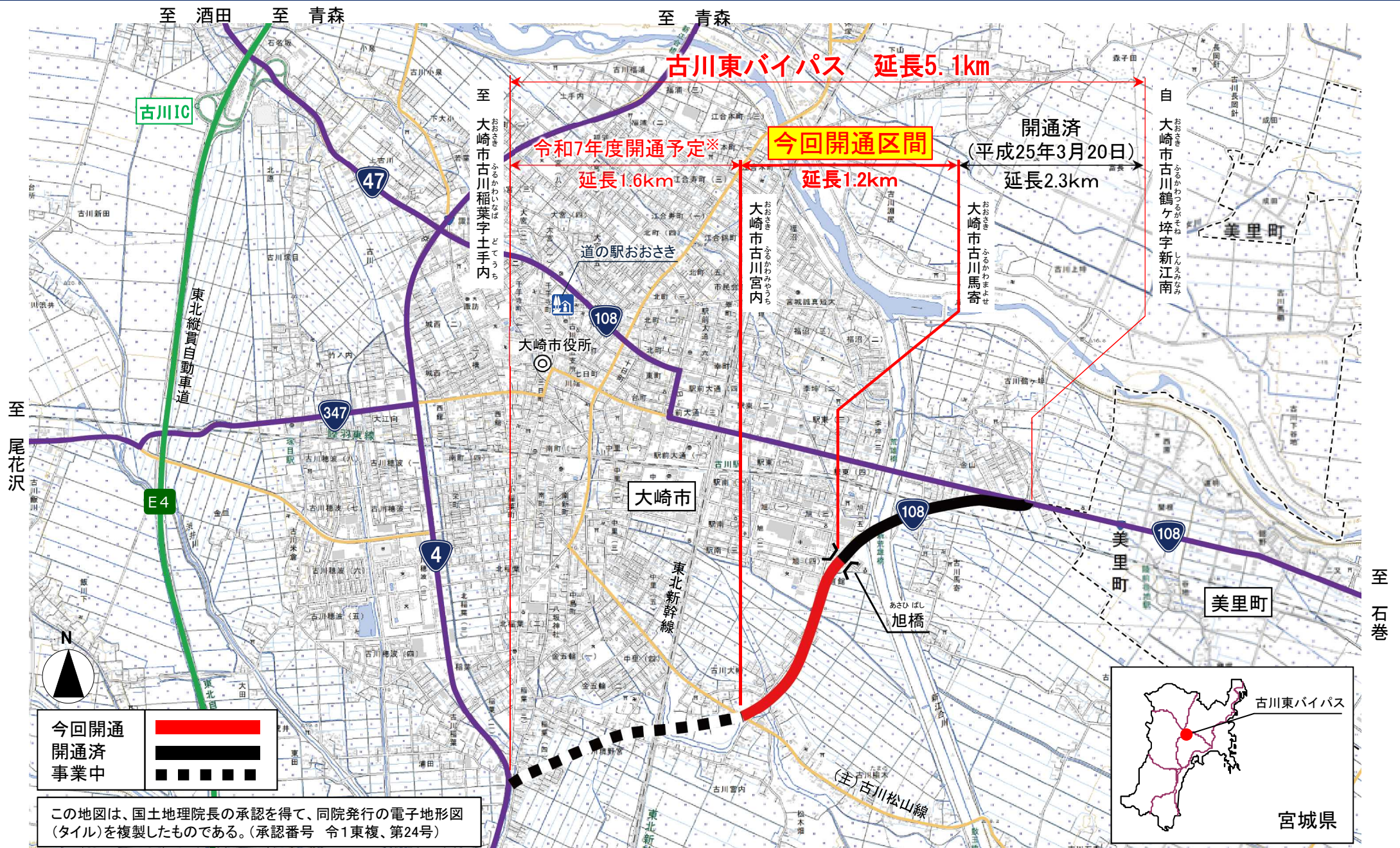
<記者発表会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、古川記者クラブ>

【お問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 TEL 022-248-4131  
副所長 <sup>とのさき</sup>外崎 <sup>たかひろ</sup>高広 (内線205)

ふるかわひがし

# 国道108号 古川東バイパス 位置図

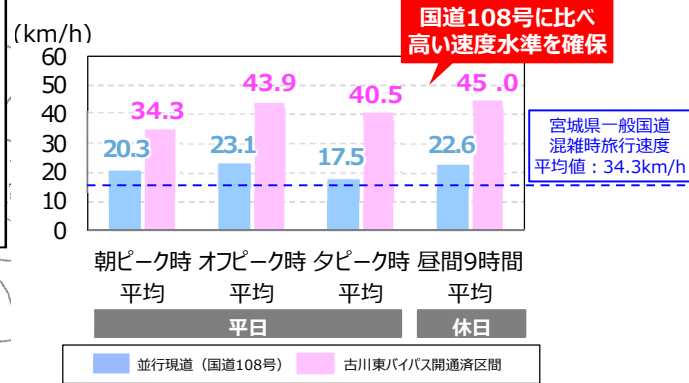


# 交通分散による国道108号の混雑緩和・安全性の向上

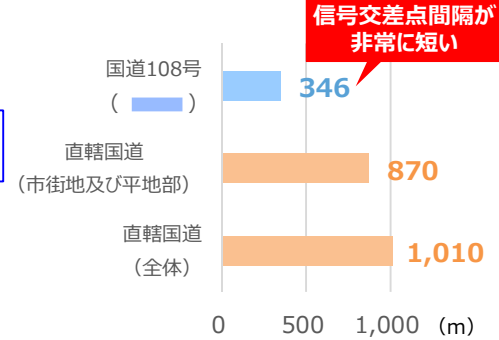
- ◆ 国道108号は大崎市中心市街地を通過し、交通量が多く信号密度も高いため、慢性的に混雑が発生し、交通事故も多く発生。
- ◆ 一方、H25.3の部分開通区間は、石巻方面から仙台方面へ向かうルートとして利用され、高い速度水準を確保。
- ◆ 古川東バイパスの整備によるバイパスへの交通転換で、中心市街地の混雑緩和と交通事故減少による安全性の向上を支援。



## 【旅行速度の比較】



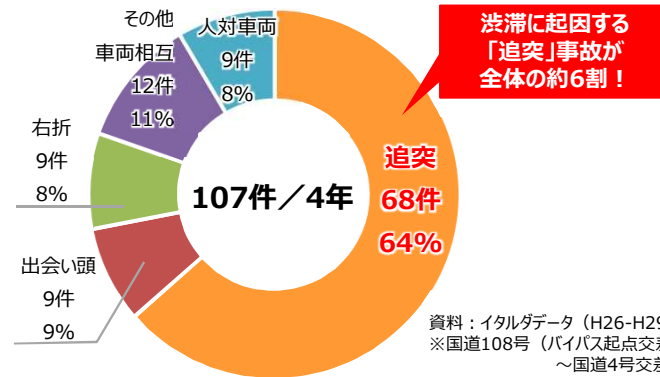
## 【信号交差点間隔 (平均距離)】



資料: 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査  
※「直轄国道」は東北地方整備局管内

資料: ETC2.0データ (R1.9)  
※朝ピーク時は7~8時台、オフピーク時は9~16時台、夕ピーク時は17~18時台、休日昼間9h平均は10~18時台  
※宮城県平均旅行速度はH27全国道路・街路交通情勢調査結果より算出 (自動車専用道路を除く2車線区間)

## 【国道108号※の事故類型】



## 【中心部の交通混雑状況】

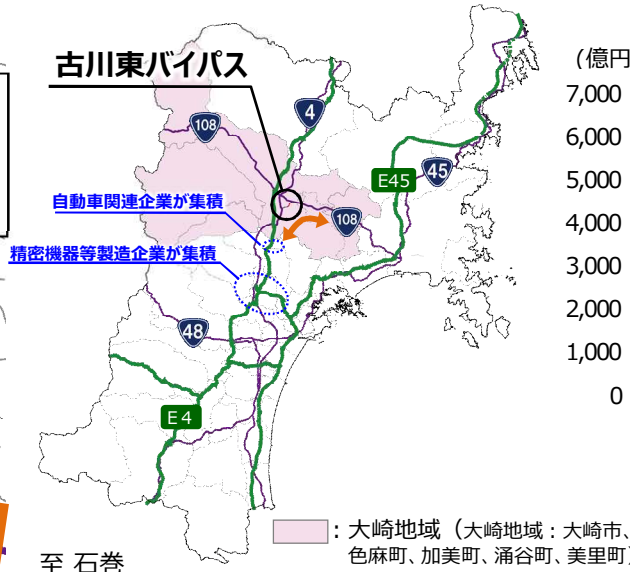
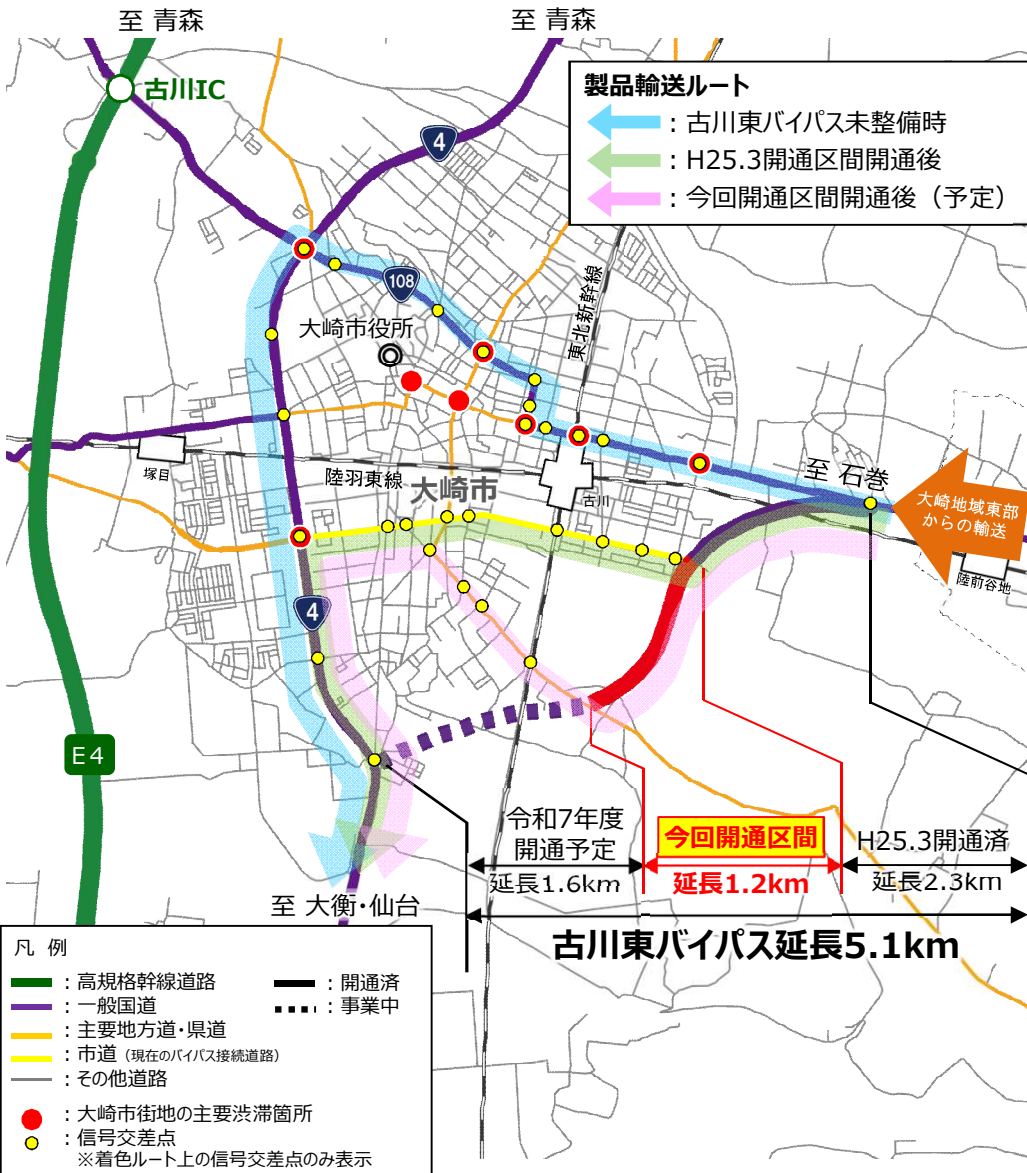


## 【地域の声】

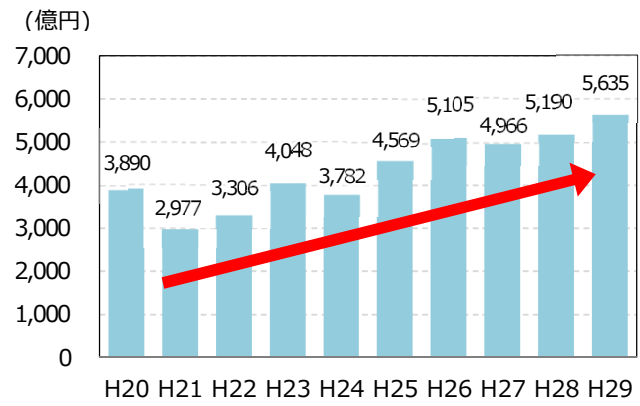
- 国道108号は狭くて混雑するという印象なので、利用を避ける傾向にある。ピーク時間に通過する際は余裕をみて出発したり、国道108号を通過しないルートを選択したりする。
  - 古川東バイパスの既開通区間を通過して国道4号に南下するルートは、混雑区間を通過せず仙台方面へ向かうことができるため、よく利用されている。今年度開通、全線開通による、更なる交通分散・渋滞緩和を期待している。
- (R1.7~8ヒアリング結果)

# 地域産業の振興を支援

- ◆大崎地域の製造品出荷額は近年堅調に推移しており、そのうち約7割が電子部品製造業や金属製品製造業。
- ◆大崎地域東部から大衡村方面等への製品輸送では、主要渋滞箇所や信号交差点が連続する区間が輸送上の課題となっている。
- ◆H25.3開通済区間は輸送経路として利用されており、今回の開通による輸送効率化で、地域産業の更なる振興を支援。

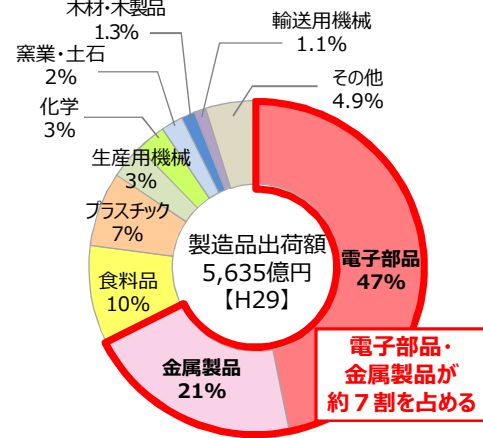


【大崎地域の製造品出荷額の推移】



資料：宮城県の工業  
※大崎地域：大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町

【大崎地域の製造品出荷額の内訳】



資料：宮城県の工業  
※従業者4人以上の事業所を対象  
※大崎地域：大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町

【金属製品製造企業の声】

- 市中心部はとにかく**渋滞が著しい**ため、**利用を避けたい**。
- 大衡方面への製品輸送の際に、古川東バイパスの**既開通区間**を利用しています。
- 製品は**精密機器**のため、**輸送中の揺れが大敵**であり、**幅員の確保された揺れの少ない道路**を選択したい。
- 今回開通区間が開通すれば**当該区間も利用予定**。
- 古川東バイパスの整備により、**混雑区間の回避、輸送時の安定性向上**が期待される。

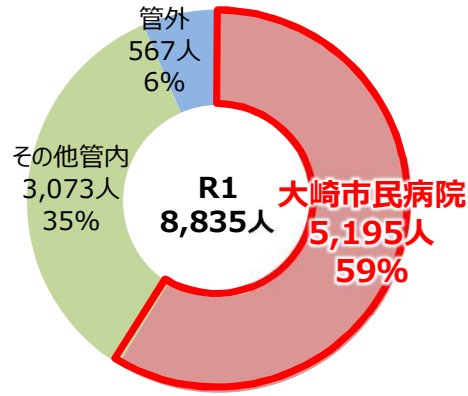
(R1.8ヒアリング結果)

# 迅速で安定した救急医療活動を支援

- ◆大崎市民病院（三次救急医療施設）は大崎地域の救急搬送における搬送先の約6割を占め、宮城県北地域の救急医療の中心。
- ◆美里町・涌谷町方面から大崎市民病院への救急搬送においては、国道108号の主要渋滞箇所や信号交差点が連続する区間を通過する必要があるため、急ブレーキや揺れなどが、救急搬送の障害。
- ◆H25.3開通区間は急ブレーキ発生割合が少なく、安定的な搬送経路として機能。今回の開通により、安定性の高い道路が延伸するほか、他の道路とのネットワーク化によって搬送経路の選択が可能になることで、更に迅速で安定した救急医療活動を支援。

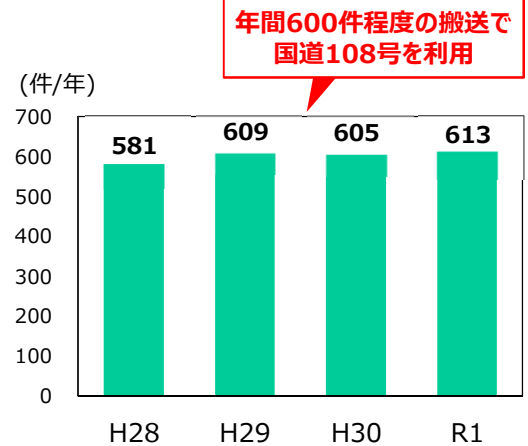


【大崎地域の搬送先割合】

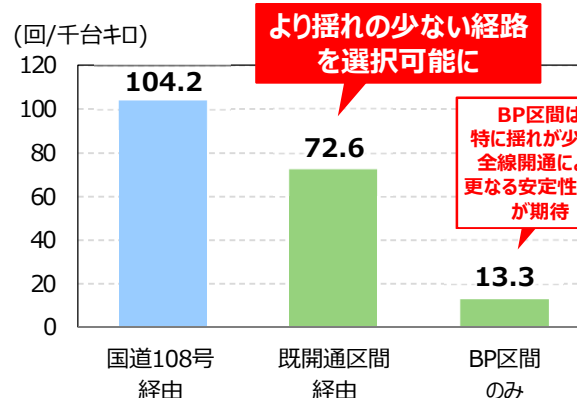


資料：消防統計  
(大崎地域広域行政事務組合消防本部)

【美里町・涌谷町からの国道108号を利用した搬送件数推移】



【急ブレーキ発生割合の比較】  
(古川東バイパス起点～亀ノ子交差点間)



資料：ETC2.0データ (R1.9)  
※前後加速度 -0.25G以上を対象に集計

【大崎地域広域行政事務組合の声】

- 市街地は信号や渋滞が多く、緊急搬送時の急ブレーキや揺れの発生が**患者の負担**になっている。
  - H25.3開通済区間ではこれらの問題がないため、**安定した搬送が可能**である。
  - 古川東バイパスが全線整備された場合、**市民病院への救急搬送で利用することを想定している。**
- (R2.2ヒアリング結果)